

令和5年2月20日

第7回地域教育実践中予ブロックオンライン集会の報告について

- 1 開催日時 令和5年2月12日(日)13:00~16:10
- 2 開催場所 zoomでのオンライン開催
- 3 参加人数 41名
- 4 実施プログラム(※詳しくはチラシ参照)

12:30~	入室開始
13:00~13:10	開会行事
13:10~14:15	実践発表 及び 発表者へのインタビュー
14:15~14:30	休憩
14:30~15:30	みんなでセッション ~実践を通してみんなで語り合おう~
15:30~16:00	グループごとの感想発表
16:00~16:10	閉会行事

5 内容について

各団体の発表

(1) 「地域貢献とキャリア教育に向けた土曜塾の展開」 松山聖陵高等学校特進コース

土曜塾は、特進コースの生徒の“勉強の成果を発揮したい”という思いから生まれた。ここでは、地域の中학생に無料で学習支援を行っている。個別指導コースと自習コースの2つに分かれ、中學生に合った学習形態を取っている。土曜塾の取組により、中學生の学力が向上し、高校生の学びが深まり、新たなつながりが生まれている。また、高校生は土曜塾に参加することで、「人のためになりたい」という地域社会への貢献意欲、「自身の夢をかなえたい」という目標実現力の向上につながっている。今後は、土曜塾の認知度を高め、もっと多くの人の役に立ちたいと考える。

(2) 「学科の特色を生かした地域とのつながり」 聖カタリナ大学短期大学部保育学科

保育学科では、レクリエーションを活用しながら地域の子どもたちやその保護者との交流に取り組んでいる。たくさんの経験、体験をする中で、特にリーダーとしてプログラムを組んだり、時間調整をしたり、1つ先のことを考えながら進行したりすることの大切さを学んだ。また、決められた時間の中で、全てのプログラムをスムーズに進めるために、事前準備と役割分担をしっかりとすることの大切さを学んだ。今後は、学んだことを生かし、就職する幼稚園では子どもたち同士が楽しく遊び、仲を深めることができるよう、色々な工夫のできる先生になりたいと思う。今後も、後輩にはこの活動を続けてほしい。

(3) 「育ちあう場所を目指して」 さくら児童クラブ運営委員会

地域・学校・保護者から組織されたさくら児童クラブ運営委員会は、松山市の委託を受け3つの児童クラブを開設し、子どもたちが放課後、安心して過ごすことができる場を提供している。例えば、活動の中に語彙の少なさから起こるトラブルを乗り越えるための本育や、遊びに必要な要素を楽しく身に付けることのできる体育などを取り入れ、よりよい集団を目指している。また、子どもたちは、誕生日会やさくら児童クラブまつりを企画運営する経験もする。こ

の経験での成功体験は、子どもたちの次の活動の活力になっている。遊びを通して自主性、社会性及び創造性の向上を目指す取組を進めている。

ブレイクアウトセッション (抜粋)

- (1) 「地域貢献とキャリア教育に向けた土曜塾の展開」 松山聖陵高等学校特進コース
 - インタビューの回答を聞いていると、自分たちの活動の意味がきちんと分かったうえで活動していることが伝わり、すばらしいと思った。
 - 身近な中高連携ができており、これは地域の中学校から高校への進学率が上がるきっかけにつながると思った。
 - 無料でしていることが魅力的だと感じた。

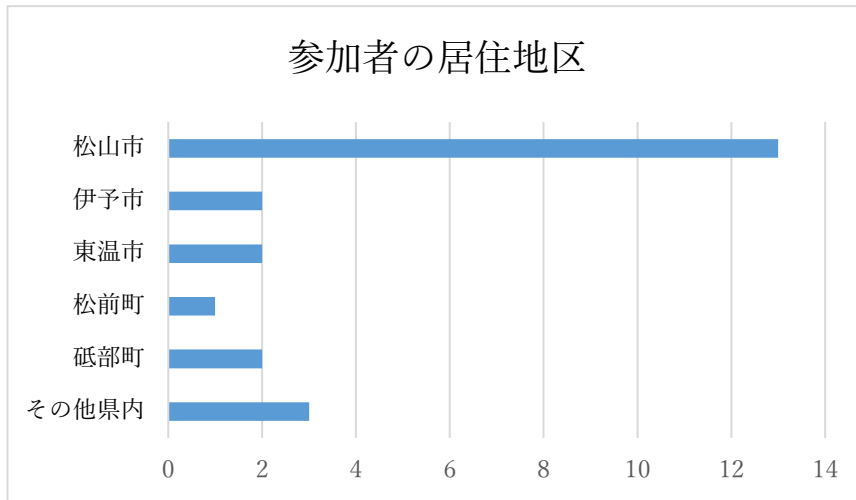
- (2) 「学科の特色を生かした地域とのつながり」 聖カタリナ大学短期大学部保育学科
 - 実践の数が多いことに驚いた。カリキュラムとして位置付けられているため、積み重ねられ、ブラッシュアップされていることがとてもいいと思った。
 - 対象とする子どもたちの年齢層が広く、大学生にとって学びのある活動だと思った。
 - 地域と密着して活動していてすばらしい。大学がない地域にも出張してやってほしい。
 - カリキュラム化していることで、活動が継続できるうえに、学生も入ってしやすい環境になっている。きっかけづくりが大切なので、行政のタイアップや募集などがあると子どもたちにも情報を提供しやすくなると思う。

- (3) 「育ちあう場所を目指して」 さくら児童クラブ運営委員会
 - 自分の子どもをここに預けたかったと感じるような取組の発表だった。
 - 児童クラブは、預かりの部分が大きいイメージで、プログラムを組んで実施しているところは少ない。体験や発表の場を用意し、そこに向かってみんなで取り組んでいこうとする活動がすばらしい。
 - 40名を超えるスタッフを支えるための、サポート体制がすばらしい。

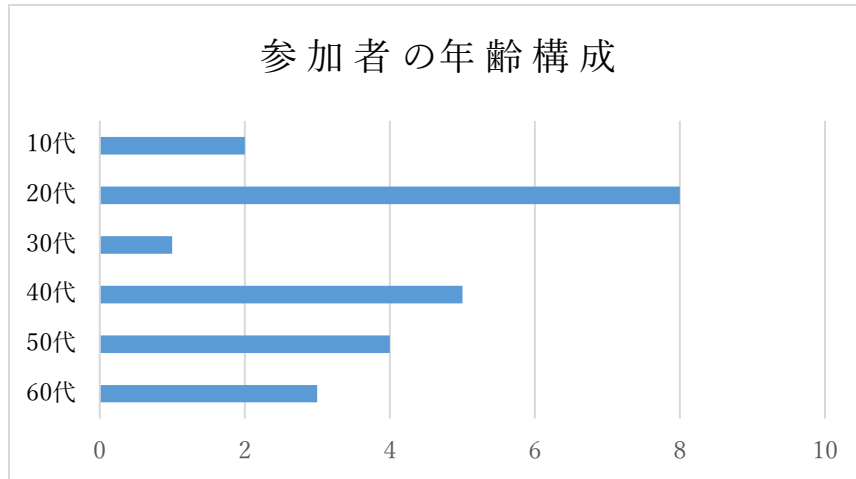
- (4) その他
 - それぞれの発表には、自分たちには何ができるか、その活動の目的は何か、その活動を通して目的を身に付けさせたいという思いがある、という3点が共通していると感じた。
 - 子どもたちの主体性を伸ばすことが大切だと感じた。
 - 活動の実践発表を聞き、それぞれの団体で課題があったそうだが、その課題を乗り越えてきたことがすばらしいと感じた。
 - 出前授業などをする場合、どうしたらいいのか、どこに出向き、どんな声掛けをしたらいいのか迷うことがある。話し合っていくと、連携がキーワードだという結論に至った。団体間をつなぐことはもちろん、大人と学生をつなぐ連携が必要だと感じた。

6 アンケート結果（回答者 23 名）

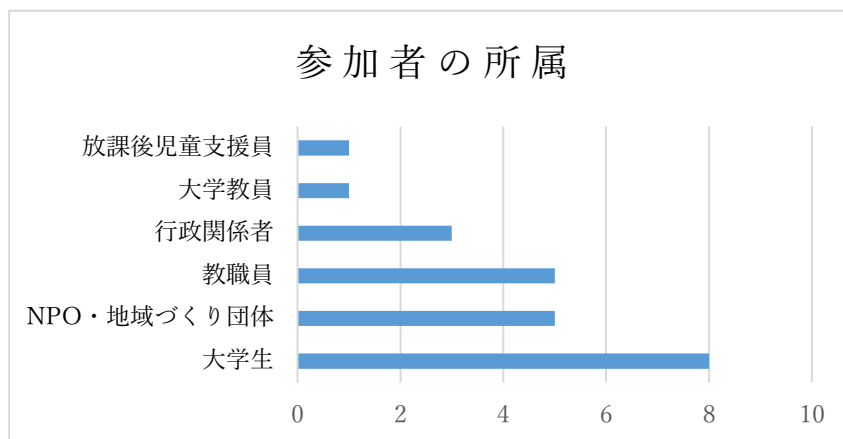
(1) 参加者の居住区



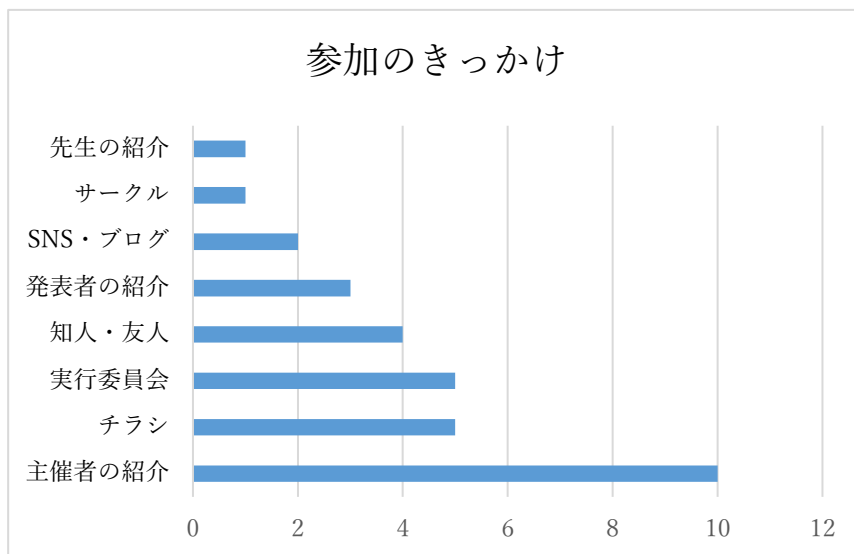
(2) 参加者の年齢構成



(3) 参加者の所属

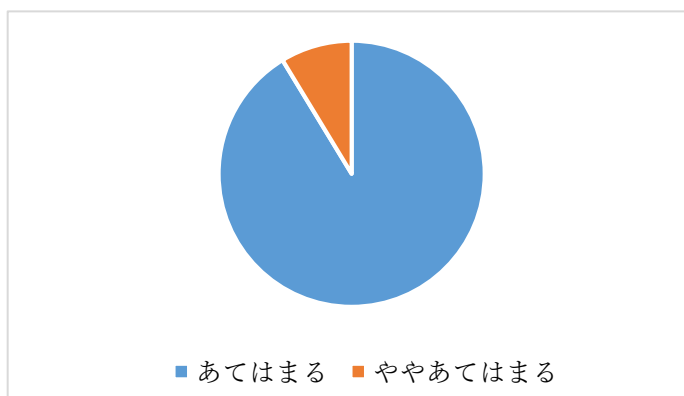


(4) 参加のきっかけ（複数回答）



(5) 満足度（興味や関心の度合い）

☆ 実践発表、ブレイクアウトセッションを通して、新たな気付きがあったり、関係づくりにつながったりしましたか。



(6) 参加した理由（主なもの）

<学生>

- 実行委員からの紹介を受けたから。
- 先生に声を掛けていただいたから。
- 谷川先生からお誘いの声をいただき、学びを深めるためにぜひ参加したいと思ったから。
- 12月の交流会に参加し、興味を持ったから。
- 地域教育に興味があったことと多くの方と意見交換をすることが好きだから。
- 発表団体のうち、2つがお世話になっていたため、ぜひ話を聞きたいと思ったから。
- 他の団体の取組発表を通して、何か自分に役立てられるものが見付かるかもしれないと思ったから。

<一般>

- みなさんの活動から自分達の活動に参考になることを見付けるため。
- 自分の仕事にも関連する、興味深い取組について知りたいと思ったから。
- みなさんの活動の具体を知りたかったから。
- 地域教育の学びを得たかったから。

- 今後の地域学習と地域活動の推進に役立てたいと思ったから。
- 若者の頑張りに触れたかったから。
- 今後の活動のためにネットワークを広げたかったから。
- 様々な方とのつながりを求めたかったから。
- 発表者である谷川先生のサポートとして参加させていただいた。
- 実行委員として、つながりをさらに広げたいと思ったから。
- 毎年参加しており恒例行事となっているから。

(7) 意見や感想、来年度の改善点（主なもの）

<学生>

- 非常に勉強になった。
- ブレイクアウトルームを通して、話し合うことができ、内容が深まった。
- 普段交流することのできない方々と交流をすることができ、貴重な経験となった。発表を聞き、どこの団体も様々な活動や工夫や課題があると分かり、勉強となった。
- 土曜塾の取組や、児童クラブの活動内容について、詳しく知ることができた。地域とのつながりがあるからこそ、子どもたちも私たちも様々な経験ができ、成長していけるのだと思った。地域のつながりの大切さを改めて感じることで良い機会となった。
- セッションで話す時間はもう少し短くてもいいかなと感じた。

<一般>

- 時間は、ちょうどよかった。若い方々がしっかりしすぎていてびっくりした。司会の大学生の方々もスムーズな進行をしてくれて、ありがたい。
- メリハリあるスムーズな進行で良かった。
- 実り多い時間だった。大学生のみなさんの運営、すばらしかった。来年も楽しみだ。
- 例年以上に学生の皆様が活躍されて、それをサポートする大人とのバランスがとても良かった。もっと幅広い年齢、たくさんの方に参加していただける会にしたい。
- 大学生の運営、とてもよいと思った。
- 若者が主人公になってきていてうれしい。
- 発表者の皆さん、スタッフの皆さんが貴重な学びの機会を作ってくださり、ありがたい。
- とてもいい会だった。来年度こそは、参集型でやりたい。
- オンラインは、参加しやすいので助かる。発表の録画データについて、少し見逃した部分があるのでもし共有が可能だったら、お願いしたい。
- すばらしい活動に感動した。主体的に私もいろんなことに取り組みたいと思った。
- 松山聖陵高校の思考の深さがすばらしい。聖カタリナ大学短期大学部の方に、次年度から実行委員会に入ってもらいたい。さくら児童クラブは、全国でも唯一の豊かな児童クラブだと感じた。
- 人口減少に対して、どのように考え、取り組んでいくか。